

Q

農大跡地活用及び跡地 周辺の整備

内野 嘉広 議員



A

早期に企業立地が実現できるよう 努める

問 都市計画道路等の周辺インフラ整備の進捗について。
答 都市計画道路川越鶴ヶ島線及び鶴ヶ島南通り線については、昨年度までに約65割の用地買収が進んでいる。また、予備設計は、専門業者に委託し、必要な作業を行っている。周辺道路の拡幅等については、県が測量設計業務等を実

問 農大跡地活用への市長の想いについて。
答 市政12年の中で農大跡地活用を進められたことをうれしく思う。事業の順調な進展による市の発展と豊かな市民生活の実現を願い、残りの任期を全力で取り組む。
問 市の都市計画変更手続の進捗について。
答 都市計画決定支援業務を専門業者に委託した。現在、用途地域、地区計画等を県と調整しながら検討している。

問 現在考えられるタイムスケジュールについて。
答 環境影響評価や都市計画変更等の手続が順調に進めば、平成30年度半ばから土地区画整理事業の造成工事に着手され、約2年で事業が完了する予定である。

◎その他の質問 大谷川の大橋市民センター周辺における葦の大量繁茂について

市の考えを問う 一般質問

9月19日・20日・21日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。



埼玉県農業大学校跡地周辺



問 国民健康保険の所得に対する平均保険料負担率は9・9割であり、他の公的医療保険と比べて負担率が高いが、その理由は。
答 医療保険制度は、保険料で医療費を賄う。国保には前期高齢者の割合が高いことによる他の保険者からの支援もあるが、国庫負担率は決まっており、低所得者が多いことで負担割合は高くなる。他の被用者保険は、加入者の収入が

問 安定しているため、負担率が低い。
問 国保税負担率の上限設定や均等割の対象を子どもに限定した上で、人数の上限設定はできないか。
答 現状では対応できないが、本年6月、全国市長会が国への提言として子どもに係る均等割保険料の軽減制度の創設を位置付けたので、今後の国の動向を注視したい。
問 国保の県単位化では、法定外繰入れを「赤字」として解消する方向であるが、国保税の引上げにはならないか。
答 国が一定の支援を入れて解消するという方向性も出ている。段階的に国保運営の適正化を図る上で、市民の理解をいただけるような法定外繰入れ金の対応を検討していきたい。

◎その他の質問 介護保険のそもそもの理念を回復するために

経済弱者にも視点を置き、国保 制度を安定的に運営していく

医療の異常事態を增長 させないために

太田 忠芳 議員

